

おう吐物の 処理方法



動画もご視聴ください <https://youtu.be/OEAYzrof-cw>

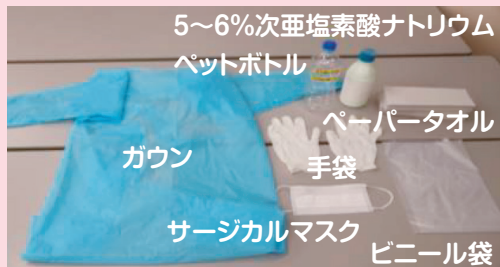
1 応援の要請

おう吐の現場にいた人は、応援を呼びます。

- ・おう吐物を処理をする人
- ・おう吐した人をサポートする人
- ・周りの人を遠ざける人
- ・窓を開けて換気する人 などがが必要です。

**事前に職員の動きと応援を呼ぶ方法を決めておきましょう。
窓を開けて換気をしてから始めましょう。**

2 物品の準備



各部屋や各フロアに、バケツに入れておくなどして、すぐに取り出せるように、1か所にまとめておきましょう。

1リットルの水に、ペットボトルのキャップ4杯分の原液を入れて、0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液を作成する。

3 処理する人の準備

髪が長い人は事前に結んでおきましょう。



サージカルマスク
鼻と口を覆います。

↓
ガウン
腰ひもを後ろで結びます。

↓
手袋
ガウンの外側に
出るように着用します。

4 おう吐物の処理 (集めて捨てる)

処理をする人の近くに
必要な物を準備しておきましょう。



↓
ウイルスの飛散を防ぐため、すみやかにペーパータオルでおう吐物を外側から覆い、消毒薬をかけます。
おう吐物は2メートル以上飛び散るため、見える範囲よりも広くペーパータオルで覆いましょう。



おう吐物を外側から中心にこすらず、すくい取ります。
すくい取ったらすぐにビニール袋に入れます。

5 床面の消毒

おう吐物が完全になくなっていることを確認しましょう。



↓
ペーパータオルを広く敷き、消毒薬をかけます。
10分間置いておきます。



10分後、ペーパータオルをビニール袋に入れます。

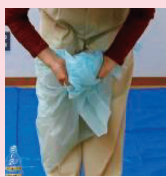
金属など、材質によっては腐食するため、最後に水拭きします。

6 処理後 (脱衣)

感染のリスクが非常に高い場面です。
手順を守って外しましょう。
それぞれ外したらすぐにビニール袋に入れましょう。



↓
手袋
片方ずつ、表裏が逆になるように外します。



↓
ガウン
汚れた面が内側になるように、適当な大きさにまとめて外します。



↓
サージカルマスク
紐を持って外します。

7 処理後 (破棄)

おう吐物が完全になくなっていることを確認しましょう。



↓
手袋、ガウン、サージカルマスクをビニール袋に入れたら、消毒薬をしみ込む程度に入れます。



使用したペットボトルも汚染されているため、ビニール袋に入れます。

袋の口は、空気を押し出さずに縛り、破棄しましょう。

8 手洗い

すみやかに、石けんと流水で、指先から手首まで、30秒以上かけて手を洗いましょう。

処理をした人や周りにいた人は、48時間は体調に注意しましょう。

感染性胃腸炎の基礎知識

感染症胃腸炎とは？

<特徴>

- 細菌やウイルスなどの病原体による感染症である。
- ウイルス感染による胃腸炎が多い。
- 毎年秋から冬にかけて流行するが、1年を通して発生する。
- アルコール消毒の効果が乏しい。
- 感染力が強く、集団発生の原因となる。**

<原因となる病原体>

ノロウイルス、ロタウイルス、サポウイルス、腸管アデノウイルス など

<潜伏期間>

1～3日程度

<症状>

吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛など

※症状がなくなった後も、ウイルスは便中に3週間以上排泄されることがある。

どうやって感染するの？

<感染経路>

おう吐物処理の場面

- 乾燥して空気中に舞ったウイルスを吸い込む。
(例：処理後に残っていたおう吐物が乾燥して舞い上がった。)
- 手についたウイルスが口に触れる。
(例：処理後の手洗いが不十分だった。)

その他の場面

- 病原体で汚染された食品を食べる。
(例：感染した人が十分な手洗いを行わずに調理をした。)
- 加熱不十分の二枚貝を食べる。
(例：人のふん便中のウイルスが下水を経て二枚貝に蓄積していた。)

<おう吐物に含まれるウイルス量>

- 耳かき1杯分に100万個以上含まれる。
- このウイルスが体内に100個入ると感染する。

感染防止のために

おう吐物は、流行状況に関わらず、感染予防のための適切な処理を行う。

(裏面の処理の仕方を参照)

集団発生中は、共用部分を 0.02%に希釈した次亜塩素酸ナトリウム液で消毒する。

<食器におう吐物が付着した場合>

- 食器に付着しているおう吐物を取り除く。
- 0.02%に希釈した次亜塩素酸ナトリウム液に5～10分浸す。または85℃以上の熱湯で1分以上熱湯消毒をする。

<衣類におう吐物が付着した場合>

保育園等での子どもの衣類の場合

- 二重のビニール袋に密閉して家庭に返却する。

施設等で消毒する場合

- 衣類に付着しているおう吐物を取り除く。
- 0.02%に希釈した次亜塩素酸ナトリウム液に30～60分浸す。または85℃以上の熱湯で1分以上熱湯消毒をする。
- 他の衣類と分けて最後に洗濯する。

<施設等で症状のある人を入浴介助をする場合>

- 原則は入浴の中止または清拭への変更を検討する。
- 部屋は十分に換気し、入浴は順番を最後にする。

消毒薬の作成方法

<0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液>

水1リットルに対して約20ml
(ペットボトルキャップ 4杯分)
おう吐物や排泄物が付着した床や物など

<0.02%の次亜塩素酸ナトリウム液>

水1リットルに対して約4ml
(ペットボトルキャップ1杯分)
トイレの便座、ドアノブ、手すり、床など

<次亜塩素酸ナトリウムの保管方法>

暗所に密閉して保存する。
希釈した液は作り置きせず当日中に使い切る。

豆知識 おう吐物の飛距離は…

立った状態でおう吐をすると、約2メートル四方に飛び散る。



目に見える拡がり



実際の拡がり